

富士川

11月号

昭和44年11月25日

No.113

富士川町役場発行

富士川町岩淵121番地
電話 011111

町の人口

44.11.1現在	15,203人
男	7,495人
女	7,708人
世帯数	3,406世帯
(面積)	31.09km ²

印刷/望月印刷所 T 010304

広域行政の時代

合併を再検討しよう

三町で合併是非の研究進む

合併問題については、三町がさ

きに昭和四十一年十月十九日、法にもとづく庵原地区合併協議会を設置し、以来、通算四回の協議会を開催しましたが、同年十二月十三日に蒲原町が「まだ時期が早いので……」と辞退し、やむなく同協議会を解散しています。

しかし、時代は、広域行政を強く要請しており、三町は、共立蒲原病院、し尿処理組合、救急業務火葬場（蒲原・富士川）漁港（由比・蒲原）等、共同で運営する事業をかかえ、また近い将来の消防広域化に備えて協議してきています。

昨年七月十六日、三町の三役、関係課長などで郡行政事務連絡会が発足し、同十二月六日に正副議長、各常任委員長で構成する郡広域行政研究協議会を設置したのも自然の成行といえます。

この両機関が活動している内に三町の合併問題を再考したらどうだろうかという気運が盛りあがり

本町当局、議会も由比・蒲原両町との合併是非を研究しようと、これを了承しました。

ことし六月一日、合併研究事務局が蒲原役場内に設置され、各町

活動は

委員会

合併研究協議会は、活動組織として委員会（合併研究事務について調査審議し、調整する）および理事会（緊急事項等の協議機関）をもっています。

委員会の担任事務

委員会は次の三つに分けられそれぞれ三町の三役、正副議長、常任委員長、関係課長がそれぞれの委員会に所属しています。

①総務行政委員会（12名）

行政・税財政・人事・消防に関する事項

②福祉厚生文教委員会（13名）

から職員が派遣され、さらにこの三つの機関の統合一本化が検討された結果、九月二日、庵原地区合併研究協議会が発足しました。

民生・保健衛生・清掃・文教に関する施設および建設事業についての事項

③建設産業委員会（12名）

産業経済・土木・水道に関する施設および建設事業についての事項

理事会の構成

三町の町長・議長・および右の委員会の委員長計九名

郡総合開発プラン

国土計画協会に委託

庵原郡三町の将来はどうか、合併研究協議会は、その診断と総合開発プランの作成を財団法人国土計画協議会に委託しました。

十月に訪れた協会調査団の一行は、四日、五日の両日、三町の町長・正副議長・議会常任委員長とともに管内を現地踏査、十一月には飛行機で空から視察、十二月末に調査の概要を中間発表することになっています。

調査重点事項

①庵原地区の現状分析と問題点の指摘

②将来計画

(イ)広域的にみた庵原地区開発の位置づけ

(ロ)産業開発の基本方向

(ハ)観光および宅地開発の基本計画

(ニ)土地利用計画

③計画実現の方策

④行財政の対応策

三町当局と議会

東海市視察

愛知県名古屋市の南に、ことし四月一日に発足したばかりの新しい東海市があります。

上野町と横須賀町とが合併した東海市（人口約五万七千・面積は当町とはほぼ同じ）で、庵原地区合併研究協議会は、十一月六・七日三町当局の視察、続いて同二十五・二十六日、三町議会議員全員の視察を実施しました。

ダンプ専用バイパスを!!

産業開発道路開設期成同盟会 発足

写真 同盟会発会式 中川町長のあいさつ



理事 高岡文夫・鈴木富治・望月亀歳・市川政男・芦川守正、齋藤昌巳・長谷川悠治・齋藤圭一・常盤登・川口滋松・宇佐美裕・久保田為雄・根津昇二郎・齋藤久男・望月八代・常盤清・ほてい(株) 柳富士川採石・柳東静砂利

監事 高岡太郎・小林正衛

会計 芦沢美之作

県道富士川富沢線の一日の通行車量は平均一万三千台ですが、このうち、富士川の川じりや沿線の山じりを運び出すダンプは七千台。ダンプがひき起した交通事故は、昨年七十七件、ことしはすでに百件を越えています。

南北両松野地区は山じりの宝

星山じり採取で

三者協議会開催

十一月二十二日、山じり三者協議会が老人福祉センターで開かれました。

対岸、富士宮市星山の山じり採取に関して、採取業者から県へ認可申請の出ていることを知った町は、十月二十五日、県ならびに関係機関に対し要望書をもって、搬出に関連のある当町になんの話もないことを不服として、県・町

庫で、一日千台のダンプで運んでも十一三十年は採取できるほどの埋蔵量だといわれています。業者の買収も進み、操業を待つばかりとなっており、これが始まれば、県道は文字どおりの交通地獄を現出することでしょう。

応急的には、川原にダンプ専用路を設けて対処しようという案が関係者の中で検討されていますが根本的な解決策は、完全なダンプ専用バイパス開設よりほかありません。

わたくしたちの県道を取り戻すため、この運動も火電阻止運動と同じように富士川魂をもって全力投球しようではありませんか。

五つの橋の山側に

歩道橋

町の強い要望により、県道富士川富沢線の交通安全施設として、県は、近々、同線上五つの橋の山側に歩道橋(幅員一・五m)を建設し、住民の交通安全をはかります。

湯沢橋・吉津橋・深沢橋・うるし沢橋・中河原橋。

「交通公害を無くせ」
 県道富士川富沢線の沿線住民の悲痛な叫びが富士川産業開発道路開設期成同盟会を発足させました。将来の山砂利開発もからみ、抜本的な交通対策は、県道沿いにもう一本、ダンプ専用路を作る以外はありません。

十一月四日、午後一時、老人福祉

社センターに中川町長はじめ関係者代表約百二十人が集まり、同盟会を結成、会長に中川町長を選出したほか次の役員を決定、①県道富士川富沢線の交通公害絶滅②県道バイパス富士川産業開発道路の早期実現を決議しました。

同盟会は、今後、国や県に対して猛運動を展開します。

役員 (敬称略)

会長 中川国兵

副会長 若月清・石川均

町および公害対策等

四日市・市原を視察

町当局および町議会公害対策委員会（芦川守正委員長）は、農協の代表者も加え、公害の実態研究のため三重県四日市市、千葉県市原市を視察しました。

十一月八・九日に、17人で四日市を、同月十四日・十五日に18人で市原をそれぞれ町のマイクログラスで訪れ、現状をつぶさに見て回りました。

視察委員の一部の感想として次のようなことが語られています。
①火力発電所単独操業はあり得ない。先になるかあとになるか、とにかく必ず石油コンビナートが形成される②高煙突による拡散が被害を減少させることにはならない被害地域の移動だけであり、薄められたとはいえず亜硫酸ガスが含まれており、日常絶えない噴出の蓄積で被害は減少していない③年平均PPMなどというのは、人体・植物に及ぼす影響の指標とはならない。風向などの関係で、毎日低いPPMを示す地域でも、一度にガス濃度の高い大気に侵されるとその被害は甚大であるのに、その

写真

スモッグの空を見上げる視察委員



した。

十一月末現在の該当者は75名。富士川町の自治行政発展のため尽力された方たちで、今回の町当局のはからいは暖かいと、町民皆さんも好感を寄せています。

会費は年間五百円、とりあえず三万六千円の予算を組み、総会にかけることになっています。

飲酒運転は

びしびし検挙

全国一斉に十二月一日から歳末特別警戒にはいります。

十一月二十日、県で開かれた市町村交通主管課長会議の席上明らかにされた県警の方針は、駐車違反、スピード違反に強い規制をする、とくに飲酒運転の場合は、びしびし検挙するきびしい方針で臨むということです。

もちろん、検挙されるのはいやだから注意するのではなく、飲酒運転は現代の道義を踏みはずした悪であり、自分の良心に照らして行動するというようにありたいものです。

酒を飲む機会のふえる時期ですが、酒を飲んだら決して運転しないよう。また、運転者には酒をすすめないでください。

町の最高令者

吉田とめさん死去

町の最高令者吉田とめさん（94歳）がなくなりました。

孫にあたる吉田虎男さん（39歳 農業・消防五分団部長）は、善意銀行に五万円を寄付、町はその意を汲んで二小に吉田文庫を設立する予定です。

統計

世界農業センサス

調査始まる

第3回世界農業センサスの調査が開始されました。

国連食糧農業機構が、経済統計に関する国際条約にもとづき十年に一回、世界各国が一斉に農業センサスを実施するように提唱、わが国は、昭和二十五年から参加しています。国連の要請をまつまでもなく、わが国として農林行政の基礎資料を得るため、どうしても必要なことです。

ことし十二月一日現在で、調査員および指導員が、調査対象者の協力を得て確認し、照査表に記載。本調査は翌45年2月1日現在で実施します。

自治功労者親睦団体

富士川町功友会誕生

中川町長は、町表彰条例にもとづいて自治功労者となられた方の親睦団体の設立を考え、十月六日十一月二十二日の両日、十二人の

発起人と協議のうえ、団体名を「富士川町功友会」と付け、総会を十二月五日午後一時に老人福祉センターで開催することを決定しま

念願の坂下歩道橋

近く着工

坂下地区は、交通の激化にともなう、国道の横断には常に生命の危険にさらされており、町としては、ぜひとも横断歩道橋を新設しようと早くから関係機関に働きかけていました。

今回、その努力が実り、建設省の直轄工事として近く着工の運びとなります。

南松野新井で

農地・農道を造成

南松野富士見町新井で、2ヘクタールの農地と延長千六百メートル(幅員三・六)の農道が完成、十一月十三日、その完成式が行なわれました。

事業費は七百三十五万円、関係者八名が新井農地造成事業として全額を農林漁業資金(三分五厘)を借りて実施しましたが、松野地区には農協がないためたいへん苦労した末完成をみたものです。着工は昨四十二年七月一日。

1メートル、幅員一・五メートル、高さ四・七メートルで、昇降口は上町側は直線階段で、富士川側は曲折階段となっています。

完成は来年三月。この歩道橋の実現にあたっては、清水銀行および長谷川正二郎氏の深いご理解とご協力のあったことをお知らせします。

完成しますと、危険な車の流れを下に、いつでも自由に横断できるわけで、富士川堤防と銀行横の町道をつんで歩行の安全が期待されます。

日の出町に

公営住宅建設

公営住宅(二種簡易耐火構造二階建、延一九七・五㎡)一棟五戸が、日の出町に建設されます。

十一月六日、町当局・議会・地元等関係者により起工式が行なわれました。

総事業費五九四万二千元(請負金額五七五万円・事務費一九万二

千円)の財源内訳は国庫三三五八千円・県補助金一六七万九千円一般財源九〇万五千元です。請負者は若月組(若月吉太郎)完成予定は来年二月二十八日。

急傾斜地崩壊危険区域

旭町・本通一・幸町の

がけ側を指定か

ことし八月一日から「急傾斜地の崩壊による災害防止に関する法律」が施行されました。

わが国は、毎年、台風や集中豪雨等で、急傾斜地の崩壊によって多数の犠牲者が出ているため、総合的、抜本的に国民の生命を保護しようとしてきたものです。

これにより、県知事は市町村長の意見を参考に、急傾斜地で崩壊のおそれがあり、相当数の居住者に災害の及ぶ危険地帯を「急傾斜地崩壊危険区域」に指定し、法律はこの範囲内で作用することに なります。

指定基準 急傾斜地の高さが5メートル以上あり、その崩壊により危害が生ずるおそれのある人家が5戸以上ある区域。

急傾斜地崩壊危険区域に指定されたときの効果
①行為の制限：切土・盛土など一

入居資格は公営住宅の性格上、母子家庭、身傷者家庭、低所得家庭が優先されます。家賃三千元。詳細については建設課へお問い合わせください。

②防災措置の勧告：県知事は、急傾斜地の崩壊による災害防止のため、

③改善措置の命令：一定の行為が行なわれたために急傾斜地の崩壊のおそれが著しいとき、一定の行為者、その土地所有者に対し防災工事の施行を命令することができ、この場合の資金は公庫融資する。

④崩壊防止工事の施行：右以外で急傾斜地の所有者や被災のおそれのある者が施行困難または不適当なものについては、県が国の補助および受益者負担をもって防止工事を実施する。



写真 説明会の模様。あいさつするのは市川建設委員長。

旭町のがけは、現在、県の急傾斜地崩壊対策事業として昨年度に引続き工費四百八〇万円をもって岩淵組(大村福太郎)がことし十月一日から来年一月三十日完成を目標に工事を進めており、したがって、旭町がけ下の一連の住宅地区とがけ上の誘発助長区域が新法の指定を受ける公算が強いようです。また町建設課は、議会建設委員会にはかり、十一月十一日、富士見台公民館に土地所有者、居住者等関係者の皆さんを集め、第一回の説明会を開催しています。なお本通一・幸町の山側一部も検討されています。

清水税務署管内

第十四回納税表彰

西村氏ほか受彰

清水税務署管内の第14回納税表彰式が十一月十二日、清水市中央公民館で開催され、町関係では次の方が表彰されました。この納税表彰式は、毎年、清水

児童・生徒

納税ポスター・書道

学年別一位が決まる

役場税務課は、町内四校の児童生徒を対象に納税ポスター・書道を募集しました。作品点数と一位の成績者氏名次のとおり。(敬称略)

ポスターの部 (二二八八点)
■五年生 齋藤寛子
二小(15点) 林 祐介

■六年生 渡辺英二
二小(40点) 二又川宏子

■中学(全学年・一中なし) 天野渡志勝
書道 (一二七点)

■五年生 大久保明美
二小(24点)

■六年生 望月直美
二小(55点)

竹之内小百合
二小(36点) 錦織尚子
■中学(全学年)
一中(2点) 高橋真弓
二小(7点) 桐山協子
(計 二五五点)

新・増・改築家屋

家屋調査実施

役場税務課

役場税務課は、十月二十七日から十二月中旬までの間、昭和44年中に新築・増築・改築された建物の実態調査を行なっています。これは町税固定資産税の基礎資料を作成するためです。

該当家屋数は約三百棟で、来年四月から課税されることになりました。

貯蓄で

心のゆとりを

十二月一日から三十一日までは「貯蓄増強歳末特別運動」が行なわれます。ことしの生活を反省し、家計簿記帳によって今後の生活設計を考えたものです。

年末・年始の行事や慣行をなるべく簡素化し、健全な消費態度で過しましょう。

賞入賞納税ポスター
ボーナス、農産物代金など臨時あるいは季節的収入とたく豪華版になりがち。サイフのひもをがっちりしめ

青色申告会へ

どうぞ

青色申告会は、わたくしたちでつくったわたくしたちの団体です。今すぐ入会してあなたの企業の繁栄に役立ててください。

清水税務署管内青色申告会副会長 富士川支部長 渡井敬蔵 電話〇〇四〇

富士川地区理事 芦川年雄 電話〇二四九

青色申告の記帳の仕方を習いたい方、税務の取扱いを知りたい方は右へご連絡ください。

青色申告会の活動

- ①税制改正に対する要望意見表明
②経営・生活問題の研究
③機関誌などの研究
④青色申告会員の必携作成配布
⑤税務・経理・経営の指導資料の作成配布
⑥講演会・講習会の開催
⑦記帳決算・申告の講習指導
⑧税務・経営・経理の相談
⑨会員の記帳の代行

登記申請について

静岡地方事務局

年末は登記の申請が一時に殺到しますので、申請書類の提出が遅れますと年内に登記済証を受けることができないことがあります。年内に登記を済ませたい方は遅くとも十二月中旬までに登記の申請をしてください。

タバコは

町内で買います



国民年金の

任意加入

再受付

明治39年4月2日から同44年4月1日生まれまでの人で、まだ国民年金に加入していない方のため再受付が始まりました。希望される方は手続きをしてください。ただし、次の方は加入できません。

①加入申出のとき、厚生年金や共済組合などの職場の年金制度に加入している人。

②加入の申出のとき、厚生年金や共済組合などから老令年金や退職年金を受けている人および受ける資格もっている人。

加入手続

申出 役場住民課窓口

締切 昭和45年6月30日

被保険者となる時期は昭和45年1月1日で、この日以後に申出した人は、その日から被保険者になります。

保険料

納付開始：昭和45年1月分から

(2月以後の加入者は加入の月から)

保険料：一カ月七五〇円

なお、加入期間は5年。年金の種類は老令年金(三万円) 通算老令年金(三二〇×納付月数) 障害年金(一年以上納付九万六千円)

死亡一時金(三年以上納付している場合一万円)

老令年金の支給開始

5年間保険料を納め、65歳になったとき、または65歳以後に保険料納付済期間が5年に達したときは、そのときから支給されます。

手をつなぐ親の会

43年度の決算

富士川町手をつなぐ親の会(金指恭三会長)は、例年、年末に總會を開いて、皆さんから寄せられた募金の収支決算について報告してきましたが、ことは県や郡主催の行事が多かったため、本紙に掲載して總會にかえることになりました。

金指会長「皆さんのご協力にあらためて感謝します。今後もどしどし事業を推進していきたいと考えています。どうぞお力添えください。」

43年度同会決算

収入

会費 一五五五八二八円

百人以上正会員一〇四一

二十円以上準々一九四四

町助成金 二万円

県助成金 三四八〇円

夏期林間学校開設補助金
雑収入：予金利率一七六三円

前年度繰越金八万二〇六三円
合計 二六万三三三四円

支出

総会費 一万二五〇〇円
会議費 六〇七五円

理事会茶菓代
旅費 一万二一〇〇円

中部地区大会ほか旅費
連絡研究費 七〇〇円

判別検査員食事代
児童奨励費二万六六九五円

特殊学級諸費三校分
相談費重障部 六〇〇〇円

図書費 二万一三四〇円
図書教材代

通信費(ハガキ代)三五七円
消耗品費 一万九一七〇円

用紙ほか消耗品代
負担金 二万三〇〇〇円

県、郡負担金
雑費(香料) 五〇〇円

合計 二二万八四三七円
(収支差引残三万四六九七円は翌年度へ繰越)

愛の贈物運動

十七万円で実施

ことしも皆さんの協力を得て、社会を明るくする運動の一環、愛の贈物運動を実施しました。

県内43年度中の少年非行事件だけをみても四万九千件を数えるほどで、わたくしたちもなおいっそう努力せねばと考えられます

青少年の健全育成と環境づくりは社会問題であり、政治・行政の基本ですが、地域の人たちの暖い愛情がぜひとも必要です。今後皆さんのご支援をお願いします。

町保護司会長 稲垣甲子男
町更生保護婦人会長 土井せつ
愛の寄金 (単位：円)

木島二八〇〇・小山三二五〇・室野二〇〇〇・相生町一万一六四〇・上町一万〇八五〇・舟山町一万・坂下八五五〇・旭町一万一八六〇・堺町五二五〇・川坂二一三

支出明細

計一七万四〇八〇円
県保護司連盟および県更生保護協会へ愛の贈物代金 一〇万〇〇〇円

町更生保護婦人会として甲府刑務所、小田原・久里浜・静岡少年院へ贈物 六万〇〇〇円
標語印刷代ほか県郡負担金 一万四〇八〇円
計一七万四〇八〇円

一小ヘグランドピアノ

故中野氏の遺志で

故中野幸一氏(堺町・大昭和重役・十月六日死去)の遺志により中野康男氏(幸一氏長女の夫)は第一小学校ヘグランドピアノ一台社会事業へ十万円寄付しました。

第一小学校(杉山和作校長)は十一月十五日、体育館で、中野氏原田教育長、常葉PTA会長を招いてその初演奏会を開催しました

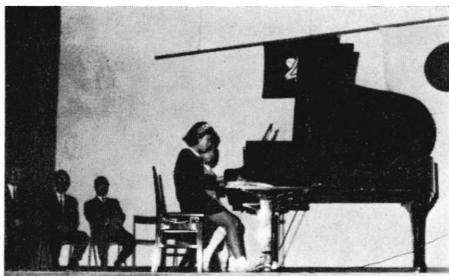


写真 寄贈グラランドピアノを初演奏する中野敬子さん(五年生)

蒲原病院

だより

①領収書が変更しました
患者さんがお支払いしたときの診療費等の領収書が十月一日から変わりました。

従来は手書きの領収書を発行していましたが、なるべく窓口で皆さんをお待たせしないよう、レジスターを採用し、事務能力のスピード化をはかったからです。

②病院のお化粧
昭和三十年十月開院以来、十四周年を迎えた当病院では、院内外壁の十四年間のアカを落し、真白に塗りかえて装いも新たに、その清潔な感じがとても好評です。



病室内は、予算の関係で翌年度に行なう予定です。

③給食設備の機械化
入院患者、付添いの方の給食作業用として、富士川町の好意で自

青年団

ダンスサークル

チャリティーパーティー開催

町青年団(丸山善浩団長)所属のダンスサークルは、十一月二十二日午後七時、福祉活動も兼ねるチャリティーパーティーを福祉センターで開催しました。

クリスマスが一カ月後に近づいたことと毎月開かれているダンス講習会の成果が現われたこととで参加者は百名を越え、サークル活

動洗浄器と調理台を譲り受けました。

自動洗浄器で皿など食器洗いがより清潔に、しかも敏速に行なえますので、係りも大喜びです。

動最初のエレキバンド付きとあって盛大なダンスパーティーとなりました。
当日の寄金はすべて歳末助け合い募金へ回されます。

12月の予定
講習会 9日・10日 図書館
11日・12日 二中講堂
クリスマスパーティー20日

五種競技会

一位・池田辰哉君

町体育協会陸上部、同陸上競技愛好会共催の第6回五種競技会は十一月三日に一中校庭で挙行されました。

五種競技とは、百・千五百・八〇メートルハードル・走高跳・砲丸投の五種目の総合得点で競うスポーツです。これには、高校生、青年、一般が参加。中学生は、二百・走高跳・砲丸投の三種です。参加者は計60名。

五種競技
1位 二七八〇点 池田辰哉
2位 二七〇二点 丸山善浩
3位 二六七三三 齋藤 勉

砲丸投 23メートル17 池田辰哉

太田利三個展

12月3日～

12月8日

県民会館第3展示室

北松野区 区民ソフトボール大会 を 挙 行

北松野区は、十一月二日、区民懇親のためのソフトボール大会を第二中学校グラウンドで行ないました。ことし第三回目。

各部落から選ばれた5チームが参加、秋晴れの日曜日とあって、家族連れの応援も加わり、選手の皆さんは、時間に追われる毎日の仕事から解放され、一日、スポーツの喜びをかみしめていました。

- 三種競技(中学一・二年)
- | | | |
|----|-------|------|
| 1位 | 一〇六二点 | 大石博一 |
| 2位 | 一〇一六 | 加藤兼良 |
| 3位 | 九三七 | 鈴木章司 |
- 女子
- | | | |
|----|------|-------|
| 1位 | 八五三点 | 遠藤文字 |
| 2位 | 七九五 | 関 敬子 |
| 3位 | 七七〇 | 池谷久美子 |
- 種目別一位
- | | | |
|--------|---------|------|
| 百メートル | 11秒7 | 丸山博康 |
| 千五百 | 4分27秒0 | 清 勝元 |
| 八〇ハードル | 11秒6 | 池田辰哉 |
| 走高跳 | 1メートル62 | 池田辰哉 |
- 優勝 儘下町
二位 大北町(山田・堀ノ内)
以上のチームには区長さんから有志杯も贈られています。
(北松野通信員・石川文彦)

芸能祭

まず琴の音が場内に静かに流れ
芸能祭の幕が切って落されました
文協四方の会（責任者・久松都



写真 四方の会の琴演奏

久睦)の「童唄による狂詩曲」は
かの演奏です。
続いて、文協演劇部・劇団創炎

いし、来年の文化祭、また舞台でお合
わさることを知りました。
文化祭当日、きれいな庭で楽
しい園遊会ができましたが、裏
にこの人たちの思いやりのある
暖かい心があったのです。
原稿・写真提供：小長谷利作氏
(幹察官部警派出所長)



写真 婦人会バラエティー「女は太陽であつた」
の一場面



写真 創炎の「赤い陣羽織」

の「留我の討入り」「民踊お国め
ぐり」
庄巻、婦人会のバラエティ「女
は太陽であつた」全十一景。天の
岩戸（北松野）吉野山（本通・幸
町）楠正行の母（南松野）お夏（
東町）赤穂浪士（相生町・上町）
幕末の女（川坂 堺町）金色夜叉
（新町四十九）野麦峠（小池・宮
町）遺書（旭町）基地の女（坂下）
女生上位（舟山・木島・小山・室野）
今、あとをふりかえって感慨ひ
としおの方も多かったと思
あそこはこうも多かったと思
っている方も。
来年度の文化祭、また舞台でお合
わさることを知りました。
文化祭当日、きれいな庭で楽
しい園遊会ができましたが、裏
にこの人たちの思いやりのある
暖かい心があったのです。
原稿・写真提供：小長谷利作氏
(幹察官部警派出所長)

(主宰者 斎藤博)
の「赤い陣羽織」
木下順二作・小田
善一演出。
このときには場
内すでに満員の盛
況、大勢の観衆に
創炎の団員も大張
切の熱演でした。
萩の会の「故郷
の人々」ほかの琴
富士川吟詠会（責
任者・常盤清）の
詩吟、楽栄会の琴
「花嫁人形」
文協舞踊部（責
任者・望月喜子）



写真 勝ち敗けにこだわらぬ…
とはいっても

囲碁大会

旭町公会堂では、囲碁大会。四
十七名が参加して午前九時から午
後四時半まで熱戦を展開しました
文協囲碁部（谷莊四郎部長）が
お世話して開催したもので、昨年
に続き二回目。
町の囲碁界では、この文化祭の
町民囲碁大会が年一回の公式戦と
なっています。

各級優勝者（敬称略）
A級 有段 町長杯 芦沢美之作
B級一ノ三級議長杯 芦川光広
C級三以下文協会長杯土橋利治

写真 除草奉仕の皆さん
さあ一服しましょう



町民文化祭

トピックス

第15回町民文化祭は、十一月三日、好天気めぐまれ、はなばなしく挙行されました。

展覧会（町立図書館・旭町消防車庫）芸能大会（第一公民館）園遊会（園庭）五種競技（一中校庭）囲碁大会（旭町公会堂）など盛沢山な行事がそれぞれ大勢の参加者、観覧者を集めすばらしい文化祭を繰広げました。

主管した文化協会の秀村敏朗会長も、盛大な一日に思わずびっくり。

「第十五回の歴史を誇るにふさわし



写真 文化祭会場 正面建物は一中校舎 アーチをくぐって左に芸能祭会場（第一公民館）右に第一展覧会場（町立図書館）園庭が園遊会場

わしい文化祭となつて、こんな嬉しいことはありません。

伝統の古さということも、反面固定化という短所を内包しますが若々しい前進ぶりを見ては、そんな心配は吹飛んでしまいます。

しかし、反省しなければならぬ点もあり、来年の文化祭に生かすべきところは生かしたいと思ひ

ます」

式は九時に始まり、席上、文協書道部（責任者、加藤恵子）は、その活動に大きな実績のあつたとで、会長から表彰状が贈られ、また個人として、囲碁部の谷莊四郎主宰者、文協演劇部・劇団創炎の斎藤博主宰者がそれぞれ表彰されました。

展覧会



写真 第一会場の模様 富士の写真に見入る黒い瞳

ことしから絵画を分離して旭町消防車庫二階で独立した絵画展を開催、これを第二会場とし、町立図書館を第一会場として文化祭展覧会を挙行しました。

第一会場には、写真一〇〇点（富士百景）書三四点、水石二二点、盆栽三一点、生花二〇点、手芸四三點、文芸二五點、フラワーデザイン多数、第二会場には絵画二七點がそれぞれ展覧され、皆さんの目を楽しませました。

園遊会



写真 茶をまつ前の静かな心境 中川町長（左）と秀村文協会長（右）

婦人会のバザー、おでんの店、だんごの店などのテントが立ち並び、商工会青年部のビアガーデンからは焼鳥のにおい。専門店の物品交換所は人の列。

園遊会の中心、茶席が一隅にしたらえられ、文協茶道部（責任者 篠田天秀）による野だて。秋の日差しを浴びて、さわやかな一服が人生の喜びを伝えてきます。

44・10・20〜11・19

人の流れ

(敬称略)

祝 結婚

区名	新郎	新婦	旧姓
新町	花田好広	房子	佐野
本一	佐野輝雄	美智子西ヶ谷	
四十九	深沢尊明	美智子	鈴木
宮町	赤堀二一	ヒロ	坂田
相生	清野義勝	信子	菊池
堺町	渡辺幸一	貴美子	若月
舟山	斎藤久馬	静恵	朝原
四十九	森山靖夫	琴美	田村
八幡	太田敬幸	敏子	安井
南町	望月真治	とも江	松坂
南町	清水 茂	ケサノ	桑原
大北	天野友美	八重子	矢部
南町	影島克美	まさ子	川口
清水	山中公一	静江	祖田
清水	田村政弘	加子	望月
祝 誕 生			
区名	氏 名	保護者	続柄
旭町	久保田淳子	容弘	長女
東一	伊藤由香	静	長女
東一	大村 圭	武	二男
川坂	井上真由美	章吾	長女
小池	三与木千恵	勝次	長女
宮町	吉田智哉	広	二男
相生	佐橋雅貴	節郎	三男
舟山	名取栄一	和夫	二男
本三	五十嵐哲之	順信	長男
木島	富田哲弘	真太郎	三男
四十九	井上英次	実	長男

堺町 若月和彦 晃 二男
 本三 小林昭宏 進一 長男
 相生 堀切ともえ 亀平 二女
 四十九 清 哲也 利夫 長男
 旭町 滝千亜紀 慧 長女
 富士見 望月直美 岩夫 長女
 富士見 久保田陽子 正治 長女
 盛下 石川欣輝 学 長男
 南町 小林里加 信美 長女
 大北 佐野逸子 彰 長女
 南町 錦織恵子 勇 二女

転 出 (結婚)
 区名 氏 名 転出先
 本一 太田久恵 蒲原町
 折 冥 福

区名 氏 名 年令
 相生 千頭和とり 六三
 本一 和田久作 七一
 堺町 中野幸一 六五
 新町 野沢由夫 五五
 南町 影島いち 七四
 盛下 朝比奈やす 七四

編集覚書

◆各市町村の広報紙は、一般の新聞と違い、きれいごとすぎる。広報担当者は公務員であるという意識をなるべく少なくし、広い視野に立ってものを見、考え、住民が市町村広報紙にいただいている違和感を解消すべきた——最近、ある日、ある人の言。

勉・一一一 斎藤 博

山芋の味

氏車 十

富士川夜話

南松野村新井の小作人、久一の家に珍しい客人が訪れた。

旅のはこりを払ってからのあいさつで、江戸から来た男と知れた三年前の今時分、久一の家で一晩過した男の使いの者だという。つるべ落しに日は暮れ、外はもう薄暗い。

「そうか、あの感じのよかった人の番頭さんか」

「旦那からあなたへ差上げてくると頼まれましたんで……」

囲炉裏端の板敷に広げられた和紙の上に——改めてください——と、大金拾両が並べられ、火の明りに浮き出されて、ずっしりした重量感と魅惑の輝きを伝えてくる久一のそだを折る手が震え、何故かむっとり黙ってしまった。

「旦那が病氣中の折に、わたしを呼んで——思いやりを金で買うようで今日までできなかつたが、死ぬ身の供養と思つて受けとつてもらえるようにしてくれ。あの時のわたしの喜びを少しでも知っていただけたら本望だ——と、こんなふうに言い残しましてな」

「えっ／＼そんじゃあ、あの人はお亡くなりになったんか」久一は

おつまと顔を見合わせた。さきほどまでおじていた二人の子どもの間に火のそばに座って客の顔を見守っている。

「そうよ、あんなうめえもん食ったことあねえ。おごつたもんを切らしたこたあねえわしだが、金じゃあ買えねえうめえもんつてえがあるんだなあ。

甲州でよ、稼ぎをして、富士川に沿つて下り、あの村にへえつたんだが、街道脇で一服したときの富士山のきれえだったこと……お



お、それでな、妙なことに立ち上がる気にならねえ。そんなこんなしてえるとき、さつき話した男に合ったんだ。……

わしは、どうで獄門台だ。おめえは間もなく出られよう。……こつちへ耳を貸してみねえ。……：ええな、全部おめえにやらあ、ただ、おめえの心づもり任せから、いくらかはその男へ届けてくれ」

◆ 「なんもごせえませんが、召しあがっておくんまし」

おつまには後光のさす人であつた。子どもにもべべの一枚も買つてやれる。田畑の一枚もほしい。客人の冷たく鋭い目が、そんな女の心を読んでいるようである。火は音をたてて燃え、久一は手造りの酒をすすめた。

「番頭さん、ただ、あの人はこんなあばら家でもたいへんくつるぐ風で、この炬の火を喜んだり背戸の柿の木を見あげては——赤い葉ですなあ——って興がたりこの子たちとぶざげ合つたりしてどんも他人たあ思えませんでしたわたしたちに思いやりがあつたちゆうて喜んでくださったつてえこんですが、わたしんちも、あの人からにじみ出る人柄の良さを知つて、今だに忘れられねえほど嬉しく思つてますに。

その金子は、わたしが確かに頂戴しましょう」

久一はこう言いながら金を手許へ引き寄せて紙で包んだ。

「さて、これはわたしの志です仏さまの供養に役立たせていただければいあわせです」

おつまは一瞬沈んだが、やがてあきらめの微笑が広がった。

「さあ、やつてくださいませ、あの人がとても喜んで食べてくれたもんです」

「これでですか、山芋のどろろ汁というのは。……こりゃあ、旦那がうまいと言うはずすなあ」